

J A茨城中央で花きマイスター「花の匠」制度が始動！

2009年3月3日、J A茨城中央管内における花き産地振興のために設置された「花き生産拡大推進委員会（J A茨城中央・同花き部会・笠間市・笠間地域農業改良普及センター・全農いばらき）」が開催され、本年4月から花きマイスター「花の匠」設置要領の施行が議決されました。

平成19年に設置された委員会では、花き（小ギクおよびハナモモ）の新規生産者の募集と育成を行ってきました。J Aと普及センターが技術支援を実施していく中で、役員等の既存生産者は、講習会およびほ場検討会において助言者として役割を果たすだけでなく、相談役として近くの新規生産者へ細かな技術支援を行ってきました。今回、将来にわたって生産者自らが産地拡大に取り組む意識醸成が図れるようにするため、技術支援体制を整備することとなりました。

花きマイスター「花の匠」制度は、既存生産者7～8名程度を花きマイスター「花の匠」として委嘱し、新規生産者の技術サポートを充実させ花き生産拡大と産地発展を図ることを目的にしています。具体的には、「花の匠」が指導者としての資質向上を図りながら、新規および経験が浅い生産者への生産販売技術のサポートと指導機関への情報伝達の役割を担っていきます。

普及センターにおいては、制度が円滑に運用できるよう関係機関一体となって支援をしていく予定です。

J A茨城中央で「小ギク販売戦略会議（花の匠委嘱等）」を開催

J A茨城中央花き部会では、5月13日にエコファーマー認定証の交付、マイスター「花の匠」を委嘱するとともに、小ギク販売戦略会議を開催しました。

全国的にも花き生産組織での取得がめずらしいエコファーマーについては、本年3月に共選部会キク生産者全員が認定を取得しました。今回の認定証交付をもって、環境にやさしい農業の実践と販売PRへの活用につなげるための全員の意思を固めました。

マイスター「花の匠」委嘱については、生産者自らが生産拡大と産地発展に継続的に寄与する仕組みとして、花き生産拡大推進委員会（花き部会、J A、市、全農、普及センター）が本年4月から制度を開始しました。昨年は、6名の新規生産者を育成しましたが、本年は新たな体制で募集活動を展開し、さらに5名の新規生産者を確保する予定です。

交付式後の小ギク生産出荷方針検討会については、不況を乗り越える「攻めの販売戦略」を展開しようと、更なる品質向上生産や端境期100本箱出荷などについて検討されました。

普及センターにおいては、生産者自らが産地づくりを実践する組織として発展できるよう、意識改革を基本に支援を強化していく予定です。

J A茨城中央で小ギク新規生産希望者向け栽培講習会を開催！

10月23日に現地ほ場において、小ギク新規栽培希望者を対象とした栽培講習会を実施しました。J A茨城中央等関係機関で構成される「花き生産拡大推進委員会」では、新規生産者確保育成を担うマイスター「花の匠」と連携した小ギク新規生産者の育成を行っています。

当日は7名の生産希望者が集まりました。今回のテーマは「親株管理」で、小ギク栽培のスタートである親株の伏せ込みから年明けの管理までを主に講習会を行いました。始めに普及センターから、作業の流れや管理のポイントについて説明を行いました。次に実際の作業を見学・体験しながら、「花の匠」である富田伊平氏、稲田隆氏からアドバイスをいただきました。初めて作業を体験した栽培希望者からは、「小ギクに合った土づくりの方法について詳しく知りたい」、「土壌診断の重要性を改めて知った」など活発な質問や意見が出され、生産への意欲の高さがうかがえました。

今後も普及センターでは、「花の匠」と連携をとりながら、栽培段階ごとに講習会を実施するとともに、巡回指導等を通して新規生産者への支援を行っていく予定です

J A茨城中央で小ギク新規生産者がいよいよ始動！

11月18日に、J A茨城中央花き部会では、小ギク新規生産者9名が来年の生産販売に取り組めるよう、8～10月咲き11品種の親株伏せ込みを行いました。新規生産者は、本年5月の募集開始から現在まで、後継者育成を担うマイスター「花の匠」によって基本的な知識の伝承を受けたことからため、不安なく栽培を開始することになりました。当日は新規生産者が「花の匠」の指導を受けながら作業を行い、『思った以上に親株が必要だ』、『親株調整のポイントがわかった』など感想が出され、いよいよ自分たちが栽培を開始したことをかみ締めた日になりました。

来年は、2年前から栽培を始めた新規生産者6名とともに、合計15名のメンバーが約150aの生産で花き部会を支えます。

普及センターでは、花き部会の組織力強化（生産量拡大、販売体制整備等）に向けて、新規生産者育成とともに支援を継続する予定です。